

米原市上丹生 水害履歴マップ その④平成25年(全4枚)

上丹生公会堂でのヒアリング調査(平成26年8月9日、参加者18名)に基づき、平成25年台風18号の情報をまとめました。



被害状況

平成25年 台風18号(9月15日~16日)

- ・上丹生に流れ込む土砂が短時間で河床に溜まり(橋から10cm下まで溜まることもあった)、水がだんだんと流れにくくなった。
- ・石が流下する音が聞こえた。
- ・河川の氾濫によって護岸が崩れ、土砂の流下によってアスファルトが浮き上がり、剥離していくのを見た。
- ・道路が浸水し、川のようになった。
- ・近年、土砂の流出量が増加しており、道路が川の水によって浸水しやすくなっている。
- ・宮前橋や12号橋中央橋などに流木が引っ掛かってせき止め、ダムのようになった。
- ・川の色が黒に変わり、においもした。
- ・周辺の山(沢)から水が出てきた、元分校の場所はケヤキがあったため、水を吸っていたが、現在はなくなっている。
- ・上流の砂防ダムが土砂を捕捉していたが、それを越える土砂が流下したため、丹生川下流にも土砂が流下した。

減災の知恵

- ・初期段階で土砂が流れ始め、川床が上がった。
 - ・水が出てくるのが遅い。(雨が降り出してから1日ほど経ってから)
 - ・平成24年の台風で護岸が緩み、護岸が崩れやすくなっているのではないかと
- ※『減災の知恵』とは、災害を受け流すために先人たちが行ってきた知恵のこと

その他

- ・15日23時、米原市から有線で避難勧告があった。
- ・避難勧告が出てから、公民館に避難を行った。
- ・川の状況を見つつ、住民には有線放送で伝達した。
- ・午前2時の段階では、それほど被害は大きくなかった。
- ・午前6時が雨風のピーク
- ・霊仙は、昔は山に浸透していくため、少々水では川に流れなかった。

橋に流木が引っ掛かったため、ダムのようにになっている



濁流により、コンクリートが剥離し、上下水道管が損傷

人家のすぐ近くを濁流が流れている



- 写真提供:
- ① ③ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ : 上丹生の皆様より
 - ② ④ ⑤ : 吉田英治様より
 - ⑩ ⑪ : 中村幸雄様より
 - ⑫ : 報告会后に作成者撮影